



TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

「反抗期バンザイ」

「時代は変わる、人も変わる」

皆さんこんにちは！坪田塾です。

今月のトピックスも2部構成です！ぜひ、ご一読ください！



● 10月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

● 11月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	12/1



坪田塾
TSUBOTA JUKU

「反抗期バンザイ」

こんにちは。星ヶ丘校 講師の島田です。

今回は、「反抗期」についてのポジティブなお話です！

反抗期の子を持つ保護者の方だけでなく、当事者である反抗期の子どもたちにも知ってほしいことをお話します！

【反抗期って悪いこと??】

「反抗期」のポジティブな面を知り、少しでも受け入れやすくしていきましょう！！

僕にとって「反抗期」が良いことだという認識が変わったのは、
たまたま見ていた

NHKスペシャル『ニッポンの家族が非常事態！？第1集わが子がキレる本当のワケ』

がきっかけでした。

番組の紹介の中に、次のような部分があります。

厄介に思える**思春期の問題行動**だが、

人間が**高度に脳を発達させる上で、極めて重要な意味**を持っていたのだ。

この番組を見て思ったことは、『反抗期って成長痛と同じ！？』です！

「もし背が伸びるなら、

痛くて夜眠れなかったとしても、一時的にならその痛みを受け入れたい！」

と思う人は少なくないのではないのでしょうか！？

言い換えると、「成長痛」を「急に背が伸びるときに起こる副作用」と捉えることもできます！

つまり、

「反抗期」は「頭が良くなるときに起こる副作用」という見方ができるということです！！

【反抗期バンザイ！】

僕は、「反抗期」は「頭が良くなるときに起こる副作用」という見方をするようになってから、
子どもの反抗期で悩んでいる保護者の方には次のようにアドバイスしています。

- ・ 本人も好きで反抗期になっているわけではありません！
- ・ むしろ、脳が成長しているのだから喜ぶべきことです！
- ・ だから、子どもに辛く当たられたら、頭の中で次のように思うようにしてください！
「よしよし！我が子が賢くなってる！！o(° ▽ ° *o)(o*° ▽ °)o~♪」

そして、反抗したいわけではないのにしてしまう子どもにも、
次のようなことを伝えています。

- ・ 好きで反抗してるわけではないよね。本当に嫌いなわけじゃないでしょ？
- ・ 反抗期は自然に起こることで、そのうちちゃんと収まるから安心してね！
- ・ むしろ、頭が良くなるときの副作用なんだから、勉強しないと損だよ！

反抗期に悩む人々の心を、少しでも軽くできれば幸いです。

「時代は変わる、人も変わる」

こんにちは、星ヶ丘校の大野です。

すっかり秋ですね。

今年度受験を迎える皆さんは、もうラストスパートといったところでしょう。

今の結果に満足している人も、していない人も、当日まで努力を続けてください。

これから受験日まで、結果を恐れて断念する人、

ペースダウンしてしまう人が多数派です。

だから、**継続して学び続けられる、という能力が圧倒的に強みになってくる**んです。

結果、そういう人が合格します。

我々もそれを支えていければと思いますので、引き続きよろしくお願ひします。

ところで、皆さんはボブ・ディランというアーティストを知っていますか。

最近では2016年に歌手として初めてノーベル賞を受賞した人として話題になりました。

必ず歴史に残るアーティストなので一度聴いてみてもいいかもしれませんね。

彼が1964年に発表した曲に、

「The Times They Are A-Changin' (時代は変わる)」という曲があります。

Come gather 'round people wherever you roam
And admit that the waters around you have grown
And accept it that soon you'll be drenched to the bone
If your time to you is worth savin'
Then you better start swimmin' or you'll sink like a stone
For the times they are a-changin'

英語を勉強している人は訳してみてくださいね。まあ結局時の流れを歌っています。

このように物事の移ろいを主張する言説は、実は古今東西にあって、

「万物は流転する」(ヘラクレイトス)

「行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。

よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとゞまることなし。

世の中にある人とすみかと、またかくの如し」

(鴨長明)

「諸行無常」

(ガウタマ=シッダールタ/ブッダ)

と、表現を変えて言われ続けています。

今年自分に、あるいは世の中で起こった出来事を思い出してみてください。

1年前の自分はそうなることを予測できたでしょうか。

1年前にタイムスリップして、南海キャンディーズの山ちゃんと蒼井優が結婚するよ、と去年の自分に言ったら、果たして信じてくれるでしょうか。

人間だって例外ではありません。

人の皮膚は、およそ1日で細胞分裂が起きます。

そして、1か月くらいですべての細胞が新しくなってしまうのです。

1か月前の自分はすっかり皮膚が変わってしまった別の自分です。

脳細胞も、学習することで結合の仕方がどんどん変わっていきます。

皆さん、「今の自分はダメだ」なんて思っていないですか。

恥ずかしながら、私も時々そう思います。

努力なんて無力に思えることもあります。

でも、そんなことを思っている間に、もう自分の体は別の自分になろうとしているのです。

だから、明日の自分のために学び続けましょう。